

令和6年度 学校経営方針

学校教育目標

いのちと人権を大切にし、共に学び高め合う、こころ豊かでたくましい中南っ子の育成

めざす学校像

- 1 いのちと人権を守る安全で安心な学校
- 2 生きる力（知・徳・体）を鍛え育てる学校
- 3 保護者や地域から信頼される学校
- 4 働きやすい学校

めざす子ども像

やさしい子 かしこい子 たくましい子

研究推進	生活指導・いじめ対策
<p>【研究テーマ】 「共に高め合う喜びのある授業づくり～視点にそって読み取り、伝え合い、学びを深める子」 国語科の説明文を中心に研究をすすめ、確かな学力や活用力の育成に努める。また、読みの視点に明確にした授業作りに取り組む。</p> <p>【具体的な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業研究（公開授業を年間5本） ・読解カトレーニング 文章を早く読んであらすじをつかむことを目指す。 ・学習アンケートの実施 年間2回実施し、学習に対する児童の実態把握とその向上に努める。 ・家庭学習の習慣化 年間4回の家庭学習強化週間を設け、家庭と連携して、望ましい家庭学習を推進する。また、「元気もりもり大作戦」と同じ日程で行い、家庭学習と生活習慣の両立を目指す。 ・ノート指導と「ノート展覧会」 日付、めあて、ふり返りを必ずノートに書かせる。「こんなノートがいい」という観点を教師と児童で明確にして、授業を進める。年間2回学級ノート展覧会を実施する。 	<p>【目標】 「自分の考えをもち、よい自分に気づき、よりよい自分に向かって歩もうと考え、行動できる子の育成」</p> <p>【具体的な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活指導を全体と学級で二重に指導することで児童への定着を促す。 ・月1回かえでっこタイムにおいて、生活の全体指導、これまでの振り返り、児童への評価を返す時間を設定する。できる限り、望ましい行動や態度の児童を取り上げる。 ・毎月末児童の生活の振り返りを実施する。タブレットでのアンケート形式で行い、できたと自己評価した数を記録し、児童の意識がどのように変化しているかわかるようにする。 ・代表委員会を児童会、委員会部長、5年生委員会代表、学級代表をもとに構成し、児童のたちが主体的に課題を見つけて取り組むように促し、学校全体の生活目標として課題解決に向けた取り組みを設定できるようにする。 ・いじめ対策では、月1回対策委員会を開き、生活相談シートや生徒指導台帳に記載された事案についてどのように対処していくか相談し、対応してする。 ・いじめや問題行動事案を担任一人で対応するのではなく、いじめ対策委員会を中心に組織で対応する。

学 級 目 標	
<p>【太陽】 みんなで チャレンジ！</p>	<p>【ひまわり】 いっしょにしようよ！</p>
<p>【けやき】 当たり前のことを当たり前 ～姿勢・全力・集中～</p>	<p>【1年月組】 いっほ ～みんなで いっほずつ～</p>
<p>【2年月組】 みんなまいにち かいっぱい声かけ こまっている子を手助け</p>	<p>【2年雪組】 じぶんも ともだちも たいせつに</p>
<p>【3年月組】 か ながえて行動し が くしゅうは全力でとりくむ や さしさあふれ け じめある3年月組 ！</p>	<p>【4年月組】 一致団結！4-1！ すすんであいさつ はなしをきく なかよくする 自分でかんがえる 時間をまもる</p>
<p>【5年】 みんながスマイル 自分から考える 自分から当たり前にする 自分からやさしく</p>	<p>【6年】 当たり前のことは当たり前にする 自分から進んでする</p>
<p>【保健室】 生涯を通じて健康な生活を送るための基本的な生活習慣を身につけ、自他の心身の健康を考え、適切に行動できる子どもを育てる。 ・元気もりもり大作戦や保健教育を担任や関係機関と連携して実施し、正しい生活習慣を身につけることができるように指導・啓発に努める。 ・保健室利用者の分析や調査、ストレスチェックアンケート等により心の健康問題を早期発見するとともに、校内組織等と連携を密にして支援の充実を図る。</p>	

